



飛び立て 「海邦養秀」を胸に!!



首里高校PTA新聞

津

Shin-ryo

梁

第126号

発行日／ 令和2年(2020年)3月1日
発行／ 沖縄県立首里高等学校PTA
那覇市首里真志町2-43
電話 (098) 886-9071

発行責任者／ 伊禮 靖 (PTA会長)
題 字／ 我喜屋秋正
タイトル地紋／ 染織デザイン科

《学校行事予定》

3月 1日 第75回卒業式
4日 高校入試(～5日)
11日 高校合格発表
24日 修了式・離任式
26日 合格者オリエンテーション
4月 7日 令和2年度入学式

《PTA活動予定》

3月 9日 三役会
17日 運営委員会
4月 4日 三役会
14日 運営委員会
21日 評議委員会・新旧役員会
5月 9日 PTA総会

※都合により日程が変更になる場合もあります。

目 次

飛び立て
「海邦養秀」を胸に!! 1P
3年生メッセージ1～9組 2～4P
3年生メッセージ10組、スナップ写真、
コサージュ、卒業生皆勤賞 5P
小成善保校長先生 教育者文部科学大臣表彰
受賞、熱気あふれる百人一首かるた大会、
皆様に感謝の気持ちを込めて 6P
そめおり展、機内誌で紹介されました 7P
最後のセンター試験の講評と大学入学共通
テストについて、センター直前集会、進路
指導部3年生応援企画、編集後記 8P

生徒代表 小林 紅音

この3年間、私たちは染織デザイン科として苦楽を共にし、様々なことに挑戦してきました。3年生になってからは、着尺制作をするに追われ苦しみましたが、クラスの仲間や先生と一丸となって進めることで、無事そめおり展まで終えることができました。この経験は何年先も忘れることのないかけがえのない思い出です。仲間たち、先生、支えてくださった皆様に感謝しています。本当にありがとうございました。



担任
小高 愛

卒業おめでとうございます。75期の担任を2年連続して務め、個性溢れるメンバーと個性をぶつけ合ったり調和したりしながら楽しい日々を過ごすことができました。過ぎてしまえばあっという間の2年間でしたが、これまでの1日1日の積み重ねが皆さんを大きく成長させたことは間違いありません。今後も自分に限界を設けず、様々なことに挑戦してください。応援しています！

3年
1組

「充実」永山 遥香

入学式のことが鮮明に思い出せるほど、3年間はとても短いものでした。この3年間で、素敵な仲間と先生に出会うことができ本当に良かったと感じています。1年生の時からユメタンやコブタン、定期テストにいつも追い詰められ、やめたい！と思ったこともあったけれど、このテストたちがあったからこそ今の自分がここにいる。あの時の努力が大学生への道を作ってくれました。首里高は勉強だけでなく行事にも部活にも力を入れていて、本当に「充実」という2文字で3年間を表せるほど充実していました。高校を卒業したらみんな離ればなれになってしまうけど、それぞれ夢に向かって頑張ろう！ありがとうみんな！ありがとう先生！要するに、「首里高愛してま〜〜す！！！」



担任
浜川 直洋

75期生の皆さん、卒業おめでとう！君たちと過ごした2年間、とても充実した日々を過ごすことができました。ありがとう！

去年の2年3組、そして今年の3年2組の皆さんにとっては頼りない担任だったかもしれませんが、「こんな先生もいたな〜」ぐらいで覚えていてくれたら嬉しいな。

たまには成長した姿を見せに首里高校に遊びに来てね。

最後に、人生色々。一度きりの人生。みんなに多くの幸せが訪れることを願っています。今後の75期生の益々の活躍を期待しています。

3年
2組

生徒代表 島 啓介

首里高校で過ごした3年間は、陸上部のH君の足より早いものだった。それでも、その一步一步は確実に踏みしめてきた。一日中頭に入れ込んだ、英単語。毎日行った、部活動。前前夜から眠れなかった、球技大会。裸足になって足が巻き込まれたポリッシャー。首里高校で過ごした一日一日が充実したものだった。生まれ変わっても首里高校に入学して、皆と出会う、皆と学校生活を送りたい、そう思えた3年間。4月からは進学、就職と皆それぞれの道に進んでいくが、そこで、首里高校で得た経験や仲間と共に成長していこう。ありがとう、首里高校。



担任
新垣 京子

75期のみなさん、そして3組のみなさん、卒業おめでとうございます！みなさんと3年間を共に過ごしたこと、担任として一人ひとりの成長を側で見守ることができたこと、心から嬉しく思います。この3年間で多くのことを経験し、みなさんは確実に逞しく成長しました。これから進学、就職とそれぞれの道に進んでいきますが、常に周りの人たちへの感謝の気持ちを忘れずに、みなさんが自分のことも周りのことも大切にできる素敵な大人になることを願っています。そして失敗を恐れずにいろんなことに挑戦してください。たとえ失敗しても上手いかわからなくても、その経験から多くを学び、きっと道は開けるはずですよ。これからの更なる飛躍を期待しています。

3年
3組

「一生の宝物」 與那城 遥香

入学してからこの3年間、沢山の人に支えられていることを改めて実感しました。その中でも感謝したいことは、仲間との出会いです。勉強や部活動に一生懸命励み、行事を本気で楽しむ仲間の姿は、時に私の力になってくれました。この場所に出会った仲間との思い出は何ものにも代え難い大切な宝物です。あつという間の3年間、何もかもが新鮮で最高でした！

私は生徒会活動を通して、学年を超えて多くの人と関わることも出来ました。75期にとって最後の大きな行事である首里フェスも成功し、最後の後夜祭も沢山の首里高生の笑顔を見ることができました。一緒に突っ走った生徒会の仲間も最高の行事を作り上げてくれた首里高生にも感謝の気持ちでいっぱいです。生徒会で学んだことを活かし、そして首里高生としての誇りを忘れず、また一歩ずつ目標に向かって頑張っていきます。

今年は「瓦プロジェクト」という貴重な機会を頂きました。75期生一人ひとりの名前が刻まれた瓦が100年後の首里高の一部になるのも、たぶん見ることは出来ないけど楽しみです。これからは別々の道に進みますが、首里高で過ごした時間、仲間との思い出を糧に前進していきます。75期生の皆さん、先生方、3年間ありがとうございました!!



担任
大城 エリカ

75期のみなさん。卒業おめでとうございます。3年間の集大成となる日々を担当として教科担当として、みなさんと過ごせたことはとても幸せな時間となりました。ありがとう。75期をひとりで表すならば「女子力」。女子が多かったせいもあって、賑やかでした。そんな女子力の中に醸し出す男子の存在も大きかったかな。さあ、いよいよ卒業を迎えます。一つにおいても別れはさみしいもの。でも別れがあって出会いもあります。みなさんの活躍を心より祈念します。

3年
4組

生徒代表 當山 大雅

75期生としての3年間がとうとう終わりをむかえてしまいます。さみしくもありますが、私としては清々しいと感じています。最後のクラスが3-5で本当に良かったです。受験生としての自覚がいち早く芽生えたのは5組といっても過言ではないくらい切り替えがスムーズで、とても過ごしやすい空間だなと感じていました。将来は、75期生全員が夢を持って、自分のやりたいことが出来ていたいと思っています。最後に、75期生という学年で3-5というクラスで過ごした日々は私にとって忘れがたい思い出です。ありがとうございました。



担任
安里 志穂

75期生の皆様、ご卒業おめでとうございます。5組の担任として一年間みなさんと共に過ごし、多くを学ぶことのできる貴重な機会に恵まれたことに大変感謝しています。礼儀正しく大人しい印象の75期生でしたが、絶妙なセンスの靴下や鞆のチャームに、みなさんの自由でロックなマインドを垣間見ることができて面白かったです。これからもその自由な心で他人様に迷惑をかける程度に好き勝手楽しく人生を生きてください。自分の可能性を信じ、学びの姿勢、挑戦する勇気と感謝の心があれば、みなさん一人一人の世界はより広く色彩豊かになると思います。きっと大丈夫。みなさんなら何処ででもやっていけます。Wish you all the best !

3年
5組

「大好きなあなたへ」 山城 り子

ひびしがあたたかい4月、私達は入学式をむかえました。1人1人が夢や希望を持って首里高校に入学しました。学校生活にもなれお友達も増えていき、全員で成功させた行事も良い思い出になりました。そんな日々の中、勉強と部活動の両立、将来自分が何になりたいのかなど、沢山悩み、いろんな人に支えられここまで成長することができました。よる遅くまで勉強した期末テスト、思いきりはしゃぎ汗を流した体育祭、声を張りあげて号令してくれた先生方には感謝してもしきれません。何事にも全力でがんばる首里高生は社会にでもきっと活躍することでしょう。これから先どんな壁にぶつかっても、首里高で3年間学んできたことは生涯絶対に役立つ！夢に向かって突き進め！75期！！

首里高校 愛しています！



担任
東恩納 義治

【3年6組の生徒に対して】：こんなに有意義な“時”を生徒たちと過ごせたのは、最初で最後かもしれません。一言でいえば「ノーストレスホームルーム」。この1年間は確実に君たちより学校生活を楽しむことができたと思自負しています。その点からいえば、本日3月1日は私にとって悲しく残念な日になってしまいました。明日からの雑談相手がいなくなってしまうのだから。教員として母校に帰り3年6組の担任として卒業式を迎えることができたことにも、とても感謝しています。これは、私が高校生だった頃には全く想像もしていなかった未来(現在)です。【卒業する皆様へ】：「一寸先は闇」です。いい意味で頑張りすぎず“柳”のように生きてください。人生はいつでも何度でもやり直しはきます。最後に、「自分が自分の人生の主人公になる」ことを期待しています。～さようなら～

3年
6組

生徒代表 宮城 香乃・宮城 萌華

3年前高校受験で首里高校を選んだ自分に感謝しています。勉強も部活も行事も何1つ諦めずに全力で盛り上がる首里高校は沖縄県で一番の高校だと思っています。ユメタン、週テスト、模試に追われた日々も今では皆で頑張った思い出です。先輩の凄さに圧倒された1年、多くの行事で盛り上がった2年、全力で取り組んだ3年と秒で過ぎていきました。休み時間になると皆で「じゅん」や「マーニー」でご飯を食べたり、放課後は首里城に遊びに行ったりと地域の人、保護者、先生方に支えてもらい充実した3年間をおくることができました。そして、私達は女子バレー部に所属し仲間の大切さを改めて実感しました。22名の仲間だったから、つらいことも苦しいことも乗り越えることができ、県インターハイ優勝、春高バレー出場を果たすことができました。75期全ての仲間に出会えたことが一生の宝物です。首里高大好きです☆



3年
7組



担任
波平 麻衣子

75期の皆さん、卒業おめでとうございます。75期とは2年生から授業、行事、日々の活動等で関わることができました。75期の明るさ、優しさ、逞しさに何度勇気づけられ、元気をもらったことでしょうか。皆さんと過ごした2年間は、最高に楽しかったですよ。卒業後は、自分の生活を豊かなものにするためにデジタルツール等の情報技術をますます上手く使いこなして欲しいです。75期のこれからの活躍、一人ひとりの人生が愛と恵みに満ちたものとなるようお祈りしています。周りとは比べず、昨日の自分と比べて、日々成長して欲しいです。Day by Day, I Am Getting Better and Better !

「私の青春「アオハル」」 嘉陽 孝聖・書/具志 璃子. 訳

首里高校に入学して「ユメタン」「古文単語」などの週テストに苦しみもがきながらなんとか三年間頑張ってこられたのは、75期の最高のメンバーや部活の仲間、どこにも負けないくらい楽しすぎる行事のおかげだと感じています。先輩方の迫力に何度も驚かされた1年、「推し活」という言葉を覚え命を懸けてきた2年、受験に追われ苦しい1年を耐え抜いた3年、どれも今となれば良い思い出となりました。どんな時も行事は全力で楽しむ75期、何度も支えてくれた先生方、部活で全国の舞台に立たせてくれた顧問、22人という大所帯で時にはぶつかり時には支え合い何度もバカして笑った仲間に出会えた事は私の最高な青春「アオハル」です。これからは違う道に進むけど、「首里高生」ということを誇りに思い、これから頑張っていきます。

☆首里高最高☆首里高校愛してまーす♡



3年
8組



担任
禰保 研光

3年8組の皆さん、そして75期生の皆さん、卒業おめでとうございます！1年生の頃から数学を担当して色々な生徒と関わり、たくさんの刺激をもらってきました。3年間関わる事ができたと決まったときはとてもうれしくて、その気持ちは今でも変わりません。3年8組の皆さん、おむつケーキをどうも有り難う！とてもうれしかったです！君たちは何事も率先してテキパキ動いて毎日頼もしく感じています。1人1人と将来の話や何気ない会話をするのが、先生の1番の楽しみでした。どこに進学するかも大切ですが、もっと大切なのは入ったところどう頑張るかです！応援しています！君たちの前途を祝して最後に先生の好きな言葉を贈ります。「命というのは産まれてから死ぬまでの時間のこと。その時間を人のために一生懸命使うということが生きるとのこと。」限られた人生、思い切り楽しんで下さい！

「かけがえのない仲間」 佐喜眞 李斗

私が送ってきた高校生活と、中学の頃に思い描いていた高校生活は、ほど遠いものだった。マンガやドラマなどで描かれている高校生活のように様々な出来事で1日を長く感じる事ができるものだと思っていた…。でも違った。そんなものじゃなかった。

行事だって行事の前の準備、部活だって部活の帰り道、昼食だってベリーの前にできる長蛇の列。どんな状況でも私のまわりには友達がいってくれた。首里高校は、仲間との楽しい時間はとても短く感じることを教えてくれた。1日1日がとても短くとても楽しかった。この3年間で「満足」はできなかった。やりたいことはまだまだある。でも「後悔」はしていない。やれることはすべてやる事ができた。

だから、この3年間を創ってくれた「かけがえのない仲間」への感謝の思いは言葉では言い表せない。それがタイトルの理由なのです。



3年
9組



担任
平田 直樹

75期のみなさん、卒業おめでとうございます。あっという間の1年間でした。9組では素晴らしいメンバーに囲まれて、本当に幸せでした。心から感謝しています。「千里の道も一歩から」これから先、みなさんはそれぞれの道を歩んでゆきますが、何事も一歩一歩着実に進めること、そして一歩目を踏み出すこと、すなわち挑戦することが大切だと思います。みなさんの活躍する姿を見る日を楽しみにしています。では、みなさんに最後の「今日の素数」を捧げたいと思います。1009。

「最高の仲間たち」 上原 菜乃葉

私が首里高で3年間を過ごしてきた中で1番印象的なのは、同級生、先輩後輩、先生方、たくさんの人々に出逢えたことです。毎週あるミニテスト、定期テストや模試も、みんながいたから乗り越えることができました。わからないところは互いに教え合い、毎日の部活も共に励みながら、行事も全力で楽しむ、何事にも一生懸命なメンバーがいたので、学校生活はとても充実して、あっという間の高校生活でした。進路はバラバラでなかなか会うのが難しくなると思いますが、この3年間の楽しかった思い出を頭に焼き付けて、首里高75期が活躍できることを願います。ありがとうございました。



担任
新垣 卓弥

おめでとうございます。とうとう首里高校を卒業する日がやってきましたね。この首里高校での3カ年を振り返って、今皆さんは何を思っていますか？仲間との楽しい思い出を、たくさん作ることができましたか？またこの3年間で、皆さんが思い描いてきたことをやりきることができましたか？さて、これからあなた方は第二の人生に歩み出そうとしています。そこは今までとは違い、楽しいことだけでなく大きな責任と重圧があり、多くの試練も待ち受けています。しかし、この試練に対して負けることなく、勇気をもって前に進み、自分の可能性を切り開いていってください。そして、立派な社会人に成長した皆さんとまた再会できる日を楽しみにしています。

3年
10組



～卒業生の胸元を飾る コサージュ～



令和2年2月14日現在 (46名)

★は中・高6年間皆勤
☆は小・中・高12年間皆勤

7組	6組	5組	4組	3組	2組	1組
* 玉城 萌乃	* 大城 空	* 新川 志乃	* 照屋 維乃	* 金城 愛那	* 伊良波 藍	* 前大 光稔
* 赤嶺 菜乃	* 山川 実玖	* 神里 帆乃	* 穂積 りか	* 鈴木 花音	* 大城 志織	* 下野 結月
* 呉屋 里紗	* 比嘉 雄一郎	* 喜屋 武奈鶴	* 登野 愛華	* 田場 姫夏	* 浦崎 桐子	
10組	9組	8組	7組	6組	5組	4組
★ 大見 謝恒秀	* 大城 彩紀	* 福仲 真音	* 比嘉 紗利奈	* 玉城 杏香	* 久高 野々香	* 山下 千尋
* 山下 紀子	* 與那 嶺有真	* 田本 裕之	* 高良 春輝	* 内間 暖陽	* 古川 晴都	* 平田 款士
* 金城 亮介	* 伊集 盛泰	* 宮城 円佳	* 山里 一徹	* 宮里 美来	* 伊禮 新志	* 仲尾 新志

卒業生皆勤賞

(3ヶ年無遅刻・無欠席・無欠課)

小成善保校長先生 教育者文部科学大臣表彰受賞

学校教育の振興に関し特に顕著な功績のあった方々に
対して行われる教育者文部科学大臣表彰を今年度
当校長 小成善保先生が受賞されました

平成29年4月から第30代校長として3年間首里高に勤務。令和2年3月末に35年の教員生活から退職されます。



—まずは教育者文部科学大臣表彰
受賞おめでとうございます。

ありがとうございます。

—早速ですが、赴任以来「文武両道」「ワンランク上の進路実現」を掲げ指導されてきましたが、首里高最後の1年はいかがでしたか。

そうですね、2年間生徒を見ていて、二兎を追う者は一兎をも得ずという言葉がありますが、うちの生徒だった二兎どころか三兎四兎を追っても十分達成できる生徒がたくさんいる。もしかしたらまだまだ挑戦していない生徒がいるんじゃないかなという印象を持ったので、最後の年は「人間力向上とチャレンジ」をテーマに掲げて事あるごとに伝えてきました。
—生徒達に変化を感じた事は？
難しいところではありますが、一つの指標として県内志向が強かつ

たところを県外国公立にチャレンジする生徒も増えてきているようで、ちよつとずつは伝わっているのかなという手応えはあります。

—本校に関わる皆さんへメッセージをお願いします。

やっぱり首里高の強みとしては「養秀同窓会」のバックアップがあるというのも非常に大きいと思います。本当に母校を愛していらして、物心両面から協力してくださる先輩が沢山いる事は、生徒たちが頑張っている糧になっていると思います。本当に感謝しています。

又、首里高に来ていらっしゃる先生方は本当に力のある先生が沢山いますので、学校経営に関してはある程度自分の考えを説明しながら一緒にやってこられたのかなあと感じます。多少無理を言いがら進めてきたところもありますが、そういう中でもしつかりと生徒を指導してくれているので、校長としても非常に感謝しています。

そして、首里高のPTAは自分たちで企画運営できるのが非常に多く、色々な面で協力的なので、学校運営する上で非常に助かっています。

校長先生を始め先生方のご理解ご協力のおかげで楽しみながら活動できました。3年間ありがとうございました。

熱気あふれる 百人一首かるた大会

第33回校内百人一首かるた大会の決勝が、令和2年1月29日図書館にて行われました。国語の授業の一環として行われる首里高ならではの校内イベントで、各学級代表から学年代表を勝ち取った1年生3名、2年生3名の計6名は、弓道部の袴に着替え、厳かな雰囲気の中で、緊張感の中、寒さを感じさせない熱気があふれる対戦が繰り広げられ



ました。今回優勝したのは1年生の本部桜花さん。賞状と副賞の図書カードが伊禮会長より授与されました。首里高には今年度からかるた部(同好会)が発足しており、本部さんは立ち上げメンバーの一人。現在7名が在籍しており、九州大会にも出場したそうですが、『九州の壁は厚かった』ようです。かるた部(部員募集中)の今後の活躍も応援しています。

皆様に感謝の 気持ちを込めて

女子バレー部保護者会代表 伊良部 達也

首里高校女子バレー部は、今年度二つの全国大会へ出場することが出来ました。一つは2019年度全国高校総体「インターハイ」、何と56年ぶりの出場。もう一つは第72回全日本バレーボール高等学校選手権大会「春高バレー」、こちらは6年ぶりの出場でした。

その二つの全国大会へ出場するにあたって、その都度皆様から暖かいご支援ご協力を賜り、誠に有難うございました。部員並びに保護者会一同本当に感謝申し上げます。

特に「春高バレー」では、養秀同窓会東京支部の方々や首里高校出身の皆様が大勢応援に駆けつけていただき総勢250名

の応援で、そのおかげで「ベスト応援賞」を受賞することとなり、首里高校の強い絆を強く感じた大会でありました。本当に有難うございました。



今一瞬の輝き —首里高校写真部より—

高校生が撮る!「私の好きな沖縄」カレンダー企画で佳作に入賞した1年生の作品を紹介します。

『大切なものは身近にあると気づきにくい』

1-10 富高 里音

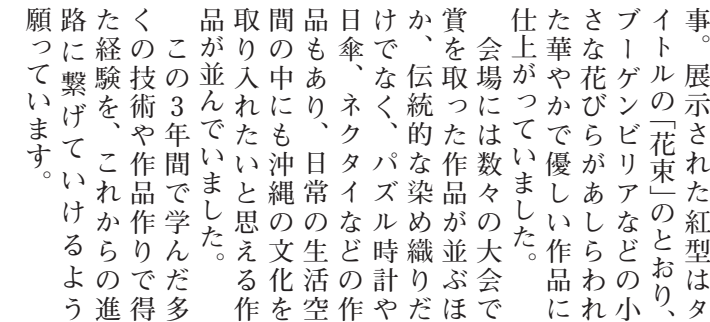
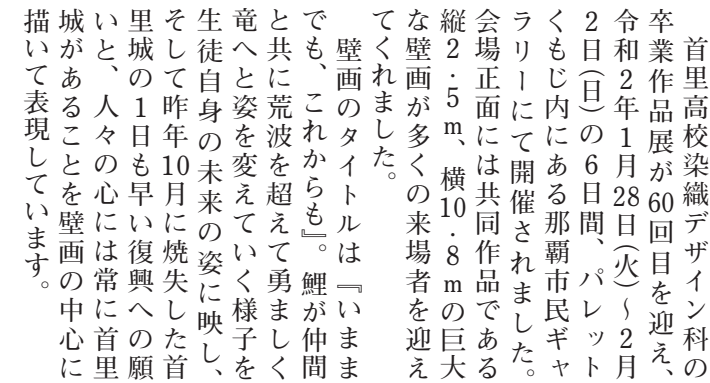
首里城消失1週間後に撮影

世界遺産の前に立ちながらも、皆の視線は首里城へと向けられている





金城向日葵さん



第60回そめおり展

『花、海、星、
そして宇宙へ
思いをのせて』

夏休みの間も卒業制作のデザインに苦慮したという3年1組の金城向日葵さん。のりを落として作品の出来上がりを見たことで涙が出たとの

首里城は焼失しても
大切なものは
私たちが守っていく



学校の伝説を字で読む「文学」で、現在1200名以上の生徒が生徒がいて、10代で、この地には有名な織造といふ文化をぶこきを選んだものにもたらし、今同様の取りでぜひいふことと思ひました。ぜひいふこと、彼女が書いたことが手仕事の未来であり、希望なりといふ。

校舎からぐぐぐの首里城まで焼失して間もない日、どんな様子だったのかと心配したが、どんな様子にもばい、とは、はるばる笑顔を元気にいばい、3年生は宮内省の制服を着て、紅型にしては唐物の華やかさでした。

最初には、国に首里城はありませんでしたが、首里城を中々守り、その調度品と能をあらったつたやや

建物を建ててきたとつた日、この地へ運ばれた大切なものは私たちの心の中にあり、それを守っていくことに変わりはありません。そして、さうしてつては、國書を担当する4人、女の子の子、3年生としての目標が感じました。その責任をのびるが感じました。そして、彼たちは「紅型」も学んでいる。

「紅型は、沖縄の美しさを最もよく表して表現している工芸です。沖縄の素朴な美を多くの人に伝えたい」

取組の最終日、正直で、力強く前向きな語が聞けることは何よりうれし、沖縄の明るく明日を見えることになりました。

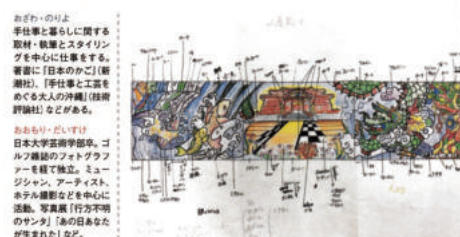
伝 続の技法を教え、それを継承する人を育てる。沖縄県立芸術高等学校校染織デザイン科は、染織デザイン科の3年生は先生の指導の下、紅型による壁面の卒業制作の真っ最中、明るい笑顔を未来の工匠を預かる。

「成人式の巻尺を制作しています。自分だけではなく子どもにも広げるものを」。すでにものづくりの遊びを知っている。

A photograph of a young woman with dark hair, wearing a white school uniform, sitting at a table and working on a textile project. She is using a small tool to apply red dye to a piece of fabric that has a white grid pattern. The background is slightly blurred, showing other people and materials in a workshop setting.

首里高等学校染織デザイン科

未来を見つめる瞳には、希望と優しさと自由が宿る。
失われたものよりも明日を思う高校生がここにいる。



左・制作中の壁面のデザイン。縦2m50cm×横10m90cmの巨大な壁面を虹型で飾る。
●3年生の卒業作品展「それおもい展」が1月28日から2月2日まで、「パレットもじもじ」内の郡山市民ギャラリーで開催される。



上・壁面の図案を担当している3年生の4人。それぞれが色んな沖縄の魅力や伝統工芸について考える。その姿は希望のそのもの。



機内誌で紹介されました

今回この記事を紹介して下さったのは、会長の伊禮さんです。

沖縄県PTA研究大会八重山大会の打ち合わせのため搭乗した飛行機で、いつものように機内誌を手にとったら、紅型の特集号。興味をもって読み進めていたら、最後の方に首里高校染織デザイン科の記事を見つけたそうです。紹介されていることを非常に嬉しく思い、更に記事を読み、こみ上げてくるものもあつたとか。是非多くの方に見ていただきたいとの思いで、早々に掲載許可まで取って下さってました。

JTA機内誌
「Coral」

2020年1月2月号」掲載

最後のセンター試験の講評と 大学入学共通テストについて

～1・2年生、保護者が知っておきたいこと～

進路指導部 主任 真栄田 義尚

令和2年度大学入試センター試験（以下、センター試験）が1月18日（土）19日（日）に実施されました。今回は最後のセンター試験となり、今の2年生（76期生）からは新たに「大学入学共通テスト」が実施されます。さて、今回のセンター試験ですが、全国では約52万6千人が受験し、本校では3年生（75期生）の364名が志願し、351名が受験しました。ここ数年、本校のセンター試験志願率は9割を超えています。ここで、センター試験の結果について少し報告させていただきます。最後のセンター試験は昨年と比べて全体的に難易度が高く、特に数学ⅠAでは全国平均点が昨年よりも約8点下がり、本校の3年生も苦戦しました。900点満点の平均点も昨年よりも約20点下がり、ここ5年間で最も平均点の低い試験でした。センター試験の翌日の20日（月）には本校で自己採点を実施したのですが、そこでは目標点に届かず、落胆する3年生の姿も少なくありませんでした。しかし、各業者からセンター予想平均点が発表されると「自分だけが得点できなかったのではなく、全国の受験生も得点できなかったんだ」と少し安心して、個別試験（2次試験）へ気持ちを切り替えている様子でした。センター試験の詳しい結果については、5月に配布される「進路の手引き」の資料編に掲載されますので、そちらでご確認ください。さて、最後のセンター試験が終わり、大学入学共通テスト（以下、共通テスト）へと変わりますが、大学受験の心構えとして共通する部分はいくつか紹介します。

1つ目は「自己採点の重要性」です。共通テストでは当初「国語と数学に記述式問題が導入される」予定でしたが、導入見送りが決定し共通テストも全問題マーク式となりました。セン

ター試験と同様に共通テストでも、受験生自身による「自己採点」が自分の成績を知る唯一の手段となります。その数字をもとに月曜のうちに各業者へデータを送り、水曜から金曜にかけて「合格判定」を含む個票が生徒の手元に届きます。本校では、保護者の皆様のご理解・ご協力のもと、大学入試に向けた高い学力を身につける取り組みの一つとして多くの模擬試験を実施しています。その模擬試験を通して「自己採点の精度」を高めていくことが必要です。

2つ目は「大学入試は長期戦である」という事です。首里高校に入学するために経験した高校入試は2日間で全日程が終わります。しかし、大学入試（国公立大学を想定）はセンター試験や共通テストで受験が終了するのではなく、その試験が「受験のはじまり」となり、そこから出願校を決定し、2月下旬の前期試験、3月中旬の後期試験と最長で約2ヶ月間の受験期間となります。そこで、保護者の皆様には、規則正しい生活習慣を確立するための家庭でのご支援をお願いします。それが、長期戦である受験期間を万全の状態で過ごせる生徒達の体調管理に繋がります。生徒達の夢実現に繋がるからです。

共通テストについては当初のいくつかの予定が見送りになりましたが、出題形式等はセンター試験とは異なります。特に2年生は、これから取り組む共通テスト型の問題集や模擬試験等を通して万全の準備をし、最初の共通テストに臨みましょう。

生徒達が自らの進路を切り開くためには生徒本人の頑張りはもちろん必要ですが、それに加えて学校と保護者が連携し合い、生徒達をサポートすることが生徒達の夢実現への大きな力となります。ともに頑張りましょう。

センター直前集会

令和2年1月16日のお昼時・体育館で「センター直前集会」がありました。3学年を担当する先生方から、大きな応援の気持ちで送られました。実際に集会に参加した生徒から先生方へ感謝の気持ちが届いています。

「先日はセンター直前集会を開いてくださり、ありがとうございました。直前の注意やアドバイス、応援の声はとても嬉しかったです。そして、先生全員での『栄光の架橋』は生徒全員が盛り上がりつつあったと思います。3年間、75期を見守ってくださりありがとうございます。もう卒業も間近ですが、最後までよろしくお願い致します。」



進路学習部 3年生応援企画

12月25日、進路学習部による3年生応援企画を開催しました。夢実現に向けて頑張る3年生に、親としても背中を押してあげよう！との思いから、おいしい差し入れを行なうこの企画。今年は「勝つサウンド」と「チョココロネパン」をプレゼントしました。

配布場所の玄関前へ次々と3年生がやって来て、一人一人へ手渡し。「がんばってよ！」の声に「ハイ！ありがとうございます！」と返す3年生たち。「メリークリスマス！」の声も飛び交う等とても賑やかなひとときでした。



◆編集後記◆

今回初めて編集を担当させていただきました。不慣れであたふたしましたが、多くの方に助けていただき、完成させることができました。本当に感謝です。75期生の皆さんも、これから出会う「初めて」を恐れず、挑戦していきましょう。卒業おめでとうございます。（小嶺）

メーリングサービスへの
登録はお済みですか？

